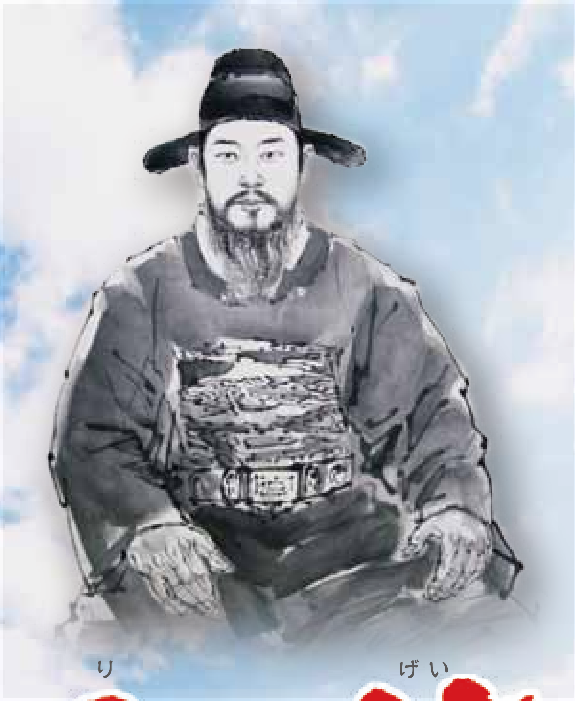
歴史に生き続ける事実が
今 この瞬間につながる
日韓関係を語る全ての人に―



李藝（りげい）

이 예

Lee Ye

最初の朝鮮通信使

日韓共同製作ドキュメンタリー映画

ナビゲーター
ユン・テヨン

ナレーター
小宮 悦子

監督
乾 弘明

www.rigei.pro

出演：中島淳一　小林立　円成美奈子　李秉稷　大林敬正　金信鏞　第19代駐日大韓民国大使 申珏秀　駐日大韓民国大使館 第3期SNSリポーター他
題字：小林芙蓉　撮影監督：長塚史視　音楽監督：引地康文　音楽：井内竜次　エンディングテーマ：キム・シン
構成：釜澤安季子　乾弘明　編集：高原淳　監修：中田稔　柳鐘玄　李明勲　制作プロデューサー：尹美亜　協力プロデューサー：朴埈永（蔚山MBC）
製作：李藝啓蒙推進実行委員会　制作：花組　制作協力：蔚山MBC　エグゼクティブプロデューサー：金住則行　総合プロデューサー：益田祐美子
協賛：忠粛公“李藝先生”記念事業会／日韓文化講座芙蓉会　後援：外務省／駐日韓国大使館／韓国文化院
企画・配給：平成プロジェクト　配給協力：東京テアトル　2013年／日本・韓国／カラー／ステレオ／日本語・韓国語／71分

© 2013 李藝啓蒙推進実行委員会

TORAY　Mitsubishi Corporation　SAMSUNG　YAMAWA GROUP 山和エンターテイメント

日本と韓国の、長い歴史に埋もれていた一人の外交官 李藝。今、600年の時を越えて、その息吹が伝わる

今から約600年前、朝鮮半島から命がけの航海で、43年間に40数回も来日した外交官がいた。名は李藝（りげい　韓国語読み イ･イェ）。地方の小役人だった李藝はその後、世宗（セジョン）大王の信頼厚い外交官となり、室町幕府･足利将軍に謁見するため京都まで出向いた。しかし李藝には、8歳の頃母を倭寇に拉致されるという悲しい過去があった。少年の心に強く芽生えたであろう憎しみの情を、どのように友愛の情に変えて日朝の友好に人生をかけたのか…。

日韓関係の新たな時代に光を投じる渾身のドキュメンタリー！

韓国人俳優ユン･テヨンが、韓流が席巻する今日の日本で、かすかに残された李藝の軌跡をたどり、釜山から京都までを旅する。驚くべきことに、今はさびれた瀬戸内の小さな港町には、朝鮮通信使をもてなした交流の歴史が、現在もなお大切に残されているのだった…。

同じ頃、駐日韓国大使館主催、朝鮮通信使の軌跡を辿るSNSリポーターの旅に参加した日本の大学生たちは、韓国で、知らなかった日韓の歴史に触れる。日本と韓国、たくさんの共通点もあれば、課題も…。新しい世代の若者たちは、どう乗り越えていくのだろうか—？

二つの旅を通して見えてきたのは、いつの時代も変わらない、目の前の相手と心を通わせたいと願う人々の姿…。日本人と韓国人が共に前へ進むために、今だからこそ挑む、渾身のドキュメンタリー。

「自分のために生きていくだけで精一杯の現代で、一介の俳優にすぎない私が、韓日のために何ができるのか…。今、韓国に大きな関心を寄せてくれている日本の方々に、韓日のもう一つの歴史の事実を伝えたい。これこそ、韓日交流のために今自分ができることだと信じて—。」
俳優　ユン･テヨン

「日韓両国の文化に大きな影響を与えた朝鮮通信使。彼らの足跡をたどるこの貴重な映画を通じ、改めて両国の深く、長い交流の歴史が育んできた友好と親善を感じます。この映画が、日韓間の交流を更に促進し、相互理解に大きく資することを心より願っています。」——外務省アジア太平州局長　杉山 晋輔

「私も李藝さんと同じ年になり、どんな困難にもくじけない李藝さんの生き方に心を熱くしました。」——女優　中村 玉緒

「この映画をプロデュースした益田氏から、この映画を創りたいとの想いを伺ってから今日の完成までの長い道のり、その情熱は李藝のそれと重なるものがあると、私は思います。一人でも多くの方が、この映画をご覧になることを心より願っております。」——ファッションデザイナー　山本 寛斎

「日韓友好の虹を眺めるような爽やかな気分になる映画です。」
——洋菓子研究家　今田 美奈子

「この映画で、李藝という人物を初めて知る方も多いと思います。彼の生き様を観ることで、日韓それぞれの想いも新たに深まるといいですね。」
——映画監督　大森 研一

李（り）藝（げい）　이 예

最初の朝鮮通信使

平成プロジェクト　花組　울산MBC

撮影協力：万松院／円通寺／赤間神宮／松濤園／福禅寺／本蓮寺／賀茂神社／浄運寺／竹林寺／大聖寺／等持院／蘭島文化振興財団／海遊文化館／室津海駅館／トゥモローハウス／対馬市／下関市／三原市／瀬戸内市／長崎県／下関フィルム･コミッション／せとうちフィルム･コミッション／三原観光協会／昌慶宮／国立海洋博物館／朝鮮通信使歴史館／国立慶州博物館／蔚山石渓書院／仏国寺／大韓民国国会議事堂　協力：在日本大韓民国民団中央本部／韓日文化交流Center／COPAN 韓日文化経済新聞／日韓経済協会／日韓親善協会中央会／日韓女性親善協会／蔚山韓日親善協会／李藝崇慕会／小林芙蓉後援会／玉虫愛好会／NPO法人PBLS／Modoobooks／河出書房新社／韓方医療観光日韓プロジェクト　宣伝協力：テレハウス　宣伝デザイン：酒井 みき／齋藤 雄介
挿絵：王子江　スチール：吉川信之　特典提供：アドベンチャー･アンリミテッド／マッチャマジック／イ･ウンミ韓方医院／美韓医院／パノバギ整形外科／花マッド汗蒸幕
参考図書：金住則行『李藝 - 最初の朝鮮通信使』（河出書房新社）

重要文化財指定記念特別展「対馬藩と朝鮮通信使」関連イベント

「李藝　最初の朝鮮通信使」上映会

■ 期日　10／26（土）　11／2（土）　11／3（日）　11／4（祝）　■ 時間　各日　10：00～上映開始（71分）
■ 会場　長崎歴史文化博物館　多目的ホール
長崎市立山１－１－１　ＴＥＬ095－818－8366
■ 料金　1,500円（映画＋特別展「対馬藩と朝鮮通信使」観覧券付、当日受付で支払い。）
※ 10/26は上映会後、原作者：金住則行氏と総合プロデューサー：益田祐美子氏の舞台挨拶･トークショーがあります。

要事前申込み